

100年前に書かれたお話が新しい挿絵と訳で出版されました！

『メリサンド姫 むてきの算数！』

E. ネズビット／作 灰島 かり／訳 高桑 幸次／絵 小峰書店 2014年
1404円

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年☆☆☆ 小中学年★★★ 小高学年★★☆ 中学生☆☆☆
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

王さまがたんじょう祝いの会をひらかなかったせいで妖精の呪いをうけ、つるつるのはげ頭になってしまったメリサンド姫！王さまは大きくなったメリサンド姫に1つだけ願い事をかなえてくれる魔法の小箱をゆずります。姫が願ったのは国の人々の幸せでしたが、この国の人々はもう十分幸せだったので魔法ははたらきませんでした。そこでおきさきさまはメリサンド姫にこう願うように頼みます。

「一メートルの長さの金のかみが生えますように。かみの毛は毎日三センチのび、切るたびに、倍の速さでのびますように。」

この願いのためにかみにうもれてしまうことになったメリサンド姫。王さま、おきさきさま、そしてメリサンド姫を愛する王子がなんとかかみの毛から姫を助け出す方法をさがしますが、姫をすくう方法はあるのでしょうか？

<子どもに手渡す時のポイント>

おとぎ話の中に算数が盛り込まれた楽しいお話です。物語が好きな子はもちろん、物語は嫌い！という子どもにも算数のところを紹介してぜひ手渡してみてください。算数の授業の導入に使ってみてもいいかもしれません。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手にとってみてください。

総合図書館 重村